

レファレンス協同 データベースの利活用

国立国会図書館 関西館 図書館協力課 平井梨絵

令和元年10月11日 @上田情報ライブラリー

本日の内容

図書館送信サービス
のご紹介



事業の概要



レファ協のポイント

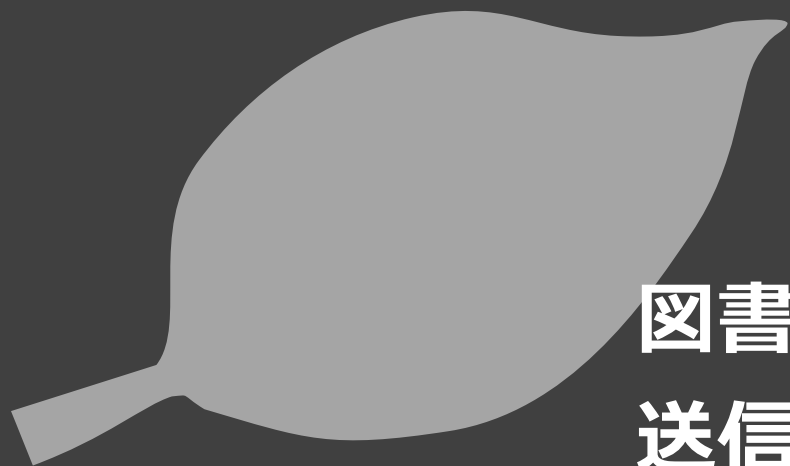
休憩



レファ協を使う



参加方法／参加した後



図書館向けデジタル化資料 送信サービス

国立国会図書館デジタルコレクションとは

- 国立国会図書館が収集・保存したデジタル資料を検索・閲覧できるようにしたデータベース



<http://dl.ndl.go.jp/>

公開範囲は3パターン

言語(Language): 日本

National Diet Library Digital Collections
国立国会図書館デジタルコレクション

すべて▼

検索 🔍 > 詳細検索

インターネット公開 図書館送信資料 国立国会図書館内限定

インターネット公開

著作権処理を行い、インターネットで公開しているもの

図書館送信資料

デジタル化資料送信サービス参加館と国立国会図書館の館内で閲覧できるもの

国立国会図書館内限定

国立国会図書館の館内でのみ閲覧できるもの

■ ここがポイント！

- 公開範囲にかかわらず、すべての資料で目次も検索できる
- 前方一致、完全一致、フレーズ検索が可能

さらにデジタル化資料送信サービスに参加すると…

- 図書館間貸出サービスの対象とならない資料（雑誌等）もデジタル化資料として利用できる
- レファレンスで活用できる

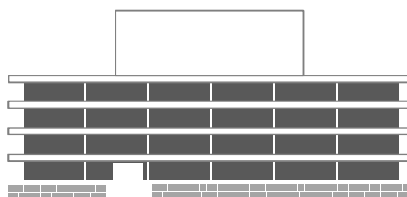
図書館向けデジタル化資料送信サービス

国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な約150万点の資料
→全国の公共図書館等で利用可

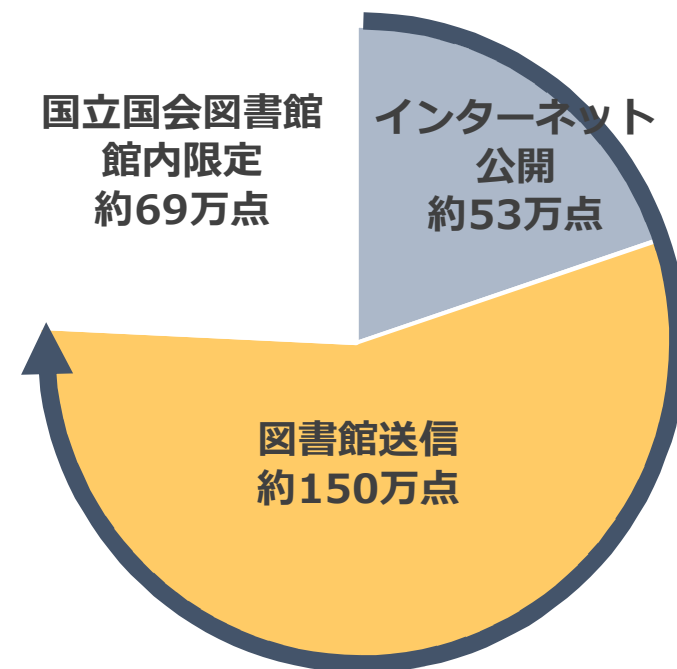


自館の蔵書

+



国立国会図書館の蔵書
(デジタル化資料)



インターネット公開と合わせると、約200万点が利用できます！

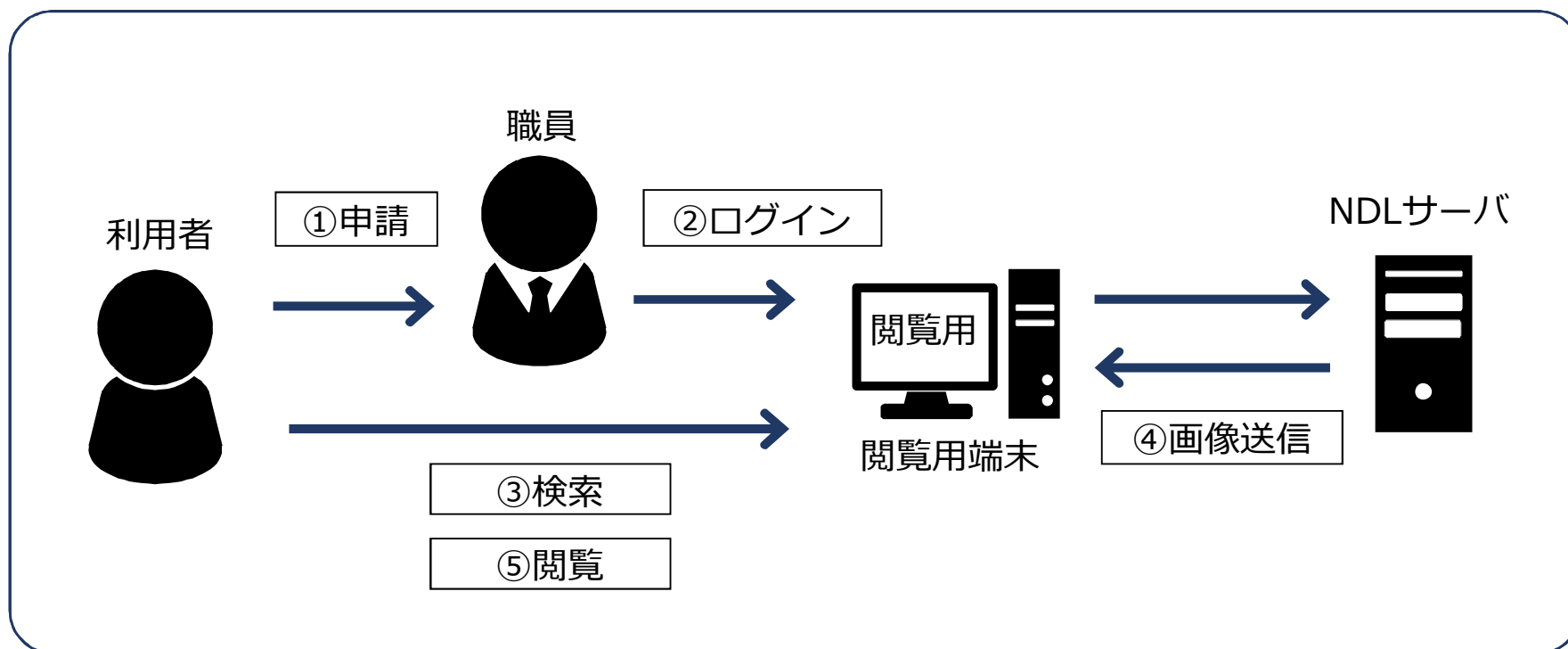
デジタル化資料提供数

令和元年7月時点・概数

資料種別		インターネット公開	図書館送信資料	国立国会図書館内限定	合計
図書	昭和43年までに受け入れた図書等	35万点	55万点	7万点	97万点
雑誌	刊行後5年以上経過したもの	1万点	79万点	53万点	133万点
古典籍	貴重書・準貴重書、江戸期以前の和漢書等	7万点	2万点	-	9万点
博士論文	平成3～12年度に送付を受けた論文	1万点	12万点	1万点	14万点
その他	官報、憲政資料、日本占領関係資料等	8万点	1万点	8万点	18万点
合計		53万点	149万点	69万点	272万点

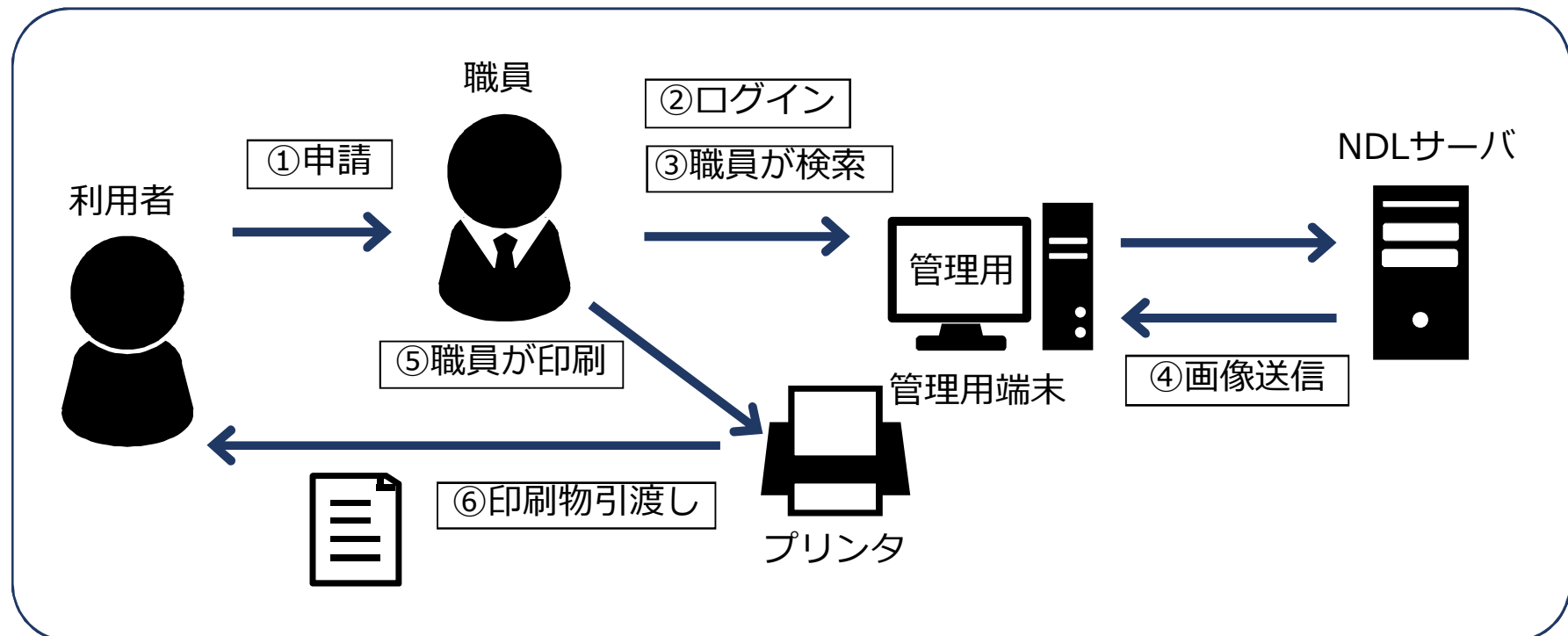
閲覧

- 利用者の申請を受け、その図書館の**登録利用者**であることを確認して**職員がログイン**
- 利用者が端末でデジタル化資料を検索・閲覧
- 閲覧終了後、**ブラウザを完全に閉じる**



複写

- 利用者の申請を受け、その図書館の**登録利用者**であることを確認。**職員がログイン**
- 複写範囲が著作権法の範囲内であることを確認し、**職員が印刷**
- 複写記録を作成（日付、資料名、コマ番号）



公開範囲ごとの参加館での利用の可否

公開範囲	閲覧利用	複写利用
国立国会図書館内限定	×	国立国会図書館の遠隔複写サービスをご利用ください。
図書館送信	○	著作権法第31条第3項に基づき、 一部分の複写が可 ※著作権の判断は各図書館で
インターネット公開 (著作権保護期間満了)	○	法的には可だが、複写サービスの実施 は送信先機関の判断による
インターネット公開 (著作権者による許諾)	○	送信先機関の図書館資料ではないため、 著作権法第31条第1項に基づく複写は
インターネット公開 (文化庁長官裁定)	○	不可

■ 参加手続き

- 事前の**利用登録**が必要です
- 利用登録の手続きには1～2か月かかります
- 登録区分は「**閲覧のみ**」「**閲覧・複写の両方**」の2種類
- **PC、HTML5に対応したブラウザ、
固定のグローバルIPアドレス**が必要です

デジタルコレクション
を活用！

■ テーマ別に検索（1クリック検索）

- <http://dl.ndl.go.jp/ja/tool.html#one-click>

1クリック検索

国立国会図書館デジタルコレクションを1クリックで検索するツールです。

- [近代日本人の著作・音源\(出身都道府県ごと\)](#)
- [よりすぐり国立国会図書館](#)
- [明治から昭和前期に刊行された写真集](#)
- [資料の形式による検索\(統計・年鑑など\)](#)
- [地域の歴史に関する資料\(都道府県ごと\)](#)
- [古典籍資料\(貴重書等\) 解題・翻刻のある資料一覧](#)
- [コレクション検索 \(デジタル化資料 / 電子書籍・電子雑誌\)](#)
- [テーマ検索 \(日本十進分類法\(NDC\)による検索\)](#)
- [歴史的音源 ジャンルで探す](#)
- [歴史的音源 著名人の演説・講演](#)

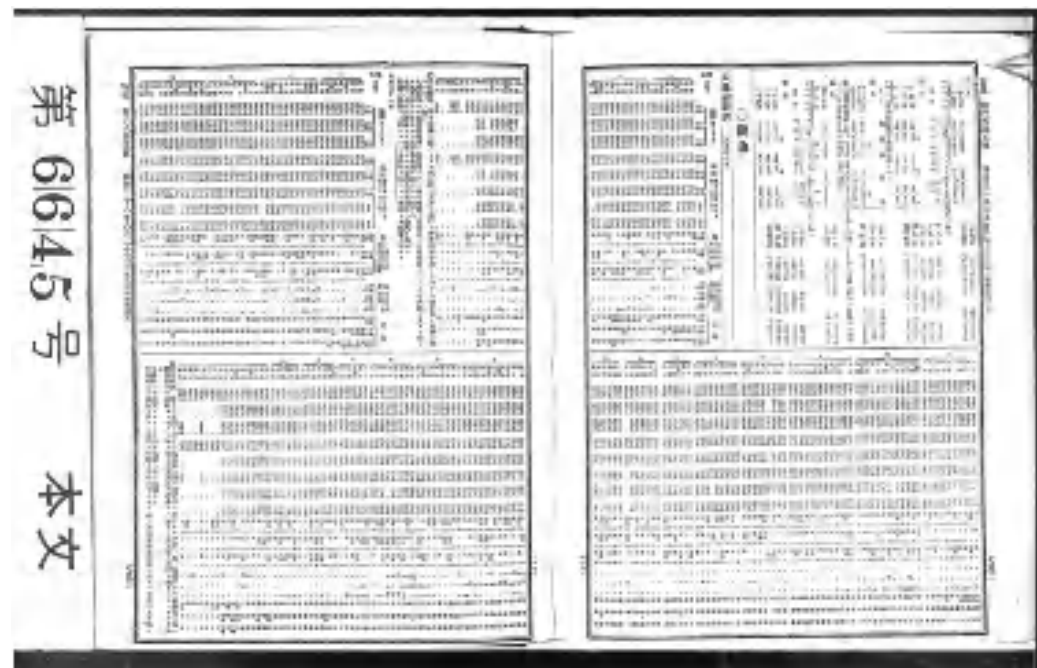
注:「コレクション検索」と「テーマ検索」は、リンク先のページで表示される三角(▶)をクリックすると下位分類が表示されます。

レファレンス・サービスへの活用

Q. 明治38年8月20日の長野市の天気分かるか。

A. 明治38年8月23日付け官報を紹介。

8月20日の全国の気象データが記載されており、長野の測候所のデータによると曇り。



<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2949978>

県立長野図書館のレファ協登録事例から

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000190372

図書館送信サービスをさらに知るには

- サービスのあれこれ

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」のページ

http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/

- 申請手続き詳細

「図書館協力ハンドブック」第7章

http://www.ndl.go.jp/jp/library/handbook/handbook/chapter_7.pdf

- 問合せ窓口

(関西館 文献提供課 複写貸出係内)

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

電話：0774-98-1330

メール：digi-soshin@ndl.go.jp

レファレンス協同 データベースの利活用

■ 今日の講義で目指すこと

- レファレンス協同データベース事業の概要を知る
 - レファレンスとその記録の意義を理解する
 - 記録の活用に必要な知識・技能を知る
 - 他館のレファ協活用事例から学ぶ
- 自館の業務にどのように活用できるか考える



1

事業の概要

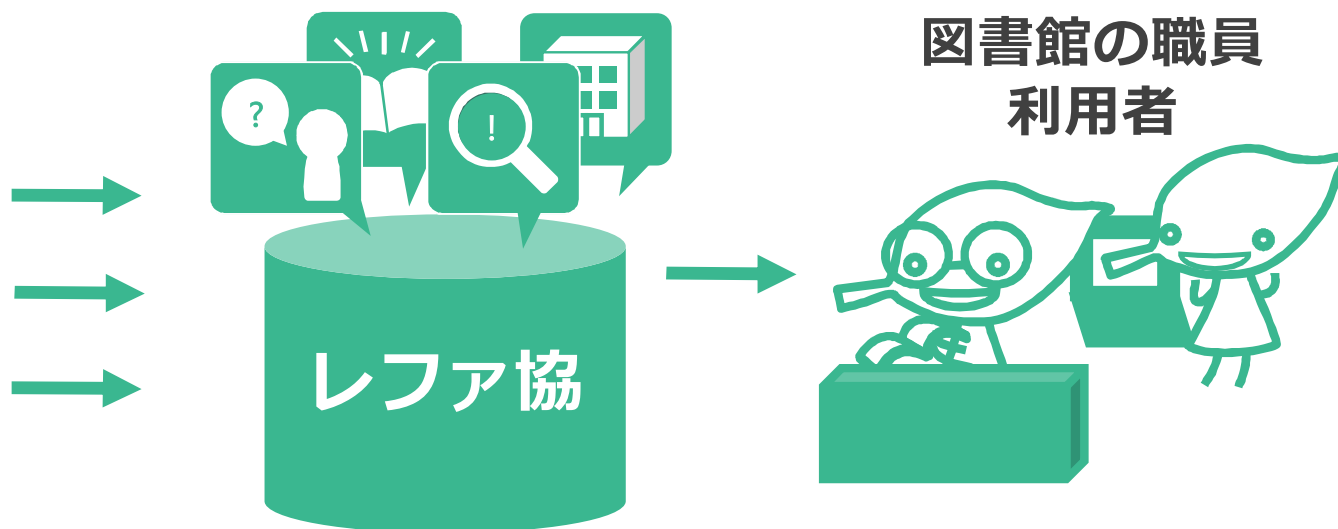
事業の目的

「…図書館等における…データを蓄積し、並びにデータをインターネットを通じて提供することにより、図書館等におけるレファレンスサービス及び一般利用者の調査研究活動を支援する」

(事業実施要項から)

全国の参加館

国立国会図書館
公共図書館
大学図書館
専門図書館
学校図書館
アーカイブズ



4種類のデータ (令和元年8月末時点)

レファレンス事例



事業の参加館で行われた
レファレンスサービスの
記録 (約218,000件)

調べ方マニュアル



特定のテーマやトピック
に関する情報源の探し方
を説明した情報
(約11,000件)

特別コレクション



個人文庫など参加館が所
蔵する特別コレクション
に関する情報 (約600件)

参加館プロフィール



参加館の連絡先やサービス
内容などについての情報
(819件)

■ 事業における「レファレンス質問」

“この事業では、利用者が何らかの情報又は資料を求めて図書館員に寄せた質問を、すべてレファレンス質問と位置付けています。”

(データ作成・公開に関するガイドライン 1.2.2より)

レファレンスは、すべてが
図書館の資源という位置付け

こんな事例も登録されています（レファレンス事例）

事実調査

- くまのプーさんの誕生日を教えてください
（福井県立図書館）

利用案内

- ドーンセンターで行っている相談の窓口について知りたい。トランスジェンダーの人は女性相談、男性相談のどちらの電話相談にかければよいか。
（大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー）

所蔵案内

- 小説はどこですか。緑の本です。（小学生より）
（伊丹市立図書館 本館「ことば蔵」）

レファレンス事例

- 先祖について知りたいので、調べ方を教えて欲しい。（磐田市立中央図書館）
- フィリピン国内で出版された子供向けのフィリピン語の絵本で日本語に翻訳されたものがあるか知りたい。（豊中市立図書館）
- 失恋しました…、心が癒される本を貸してほしい。（高2 男子）（東京学芸大学学校図書館運営専門委員会）

■ 調べ方マニュアル

- 年金について調べる（池田市立図書館）
- こどもパスファインダー：茨城の人物を調べよう！
（茨城県立図書館）
- 英語多読ガイド（九州大学附属図書館）
- ライブなどでの「ノリ」は、どんなふうが発生するのか？（清教学園中・高等学校 学校図書館リブラリア）

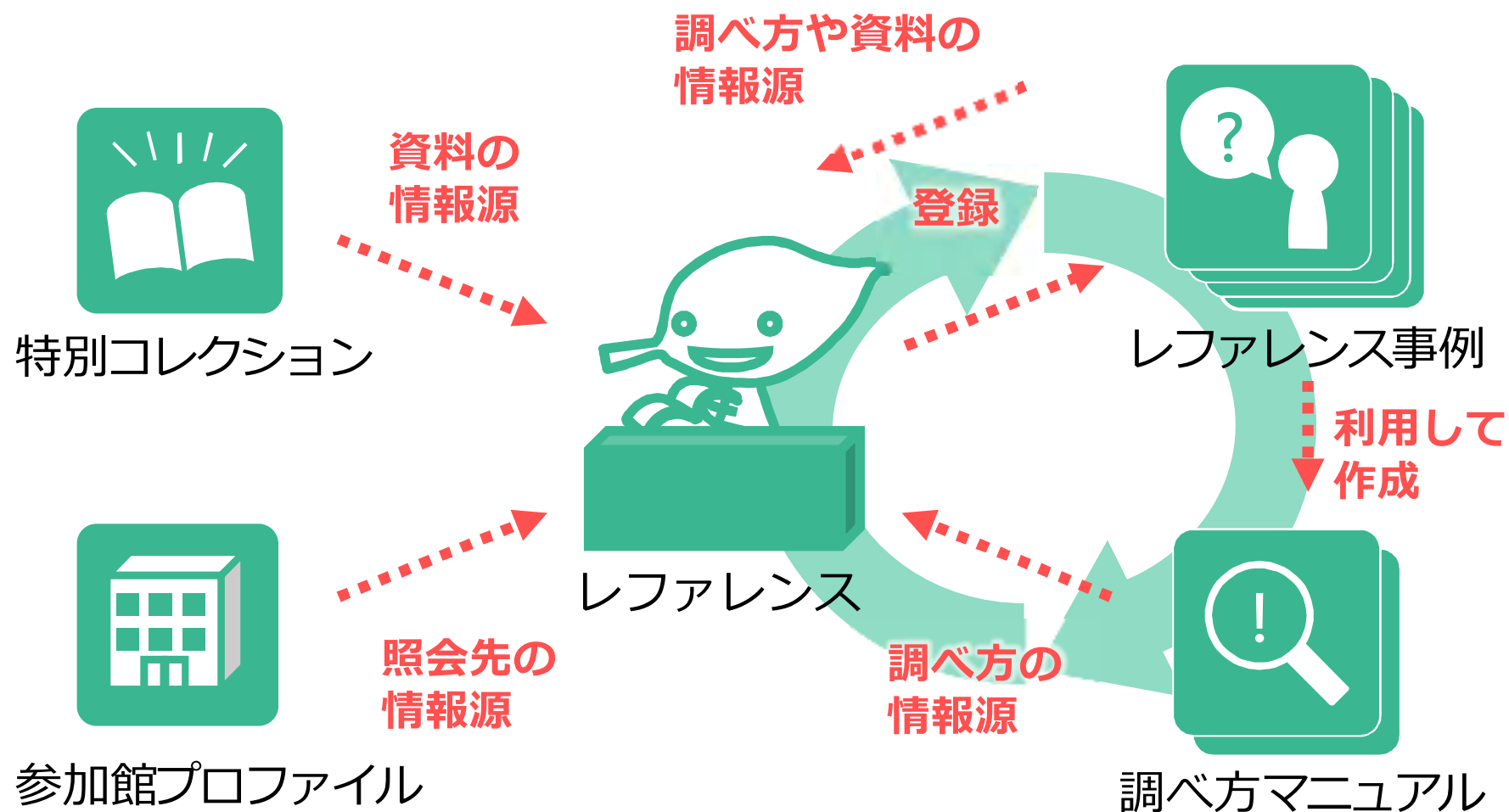


特別コレクション

- 震災文庫（阪神・淡路大震災関資料文庫）（神戸大学附属図書館）
- 戦前土木名著100書（公益社団法人土木学会附属土木図書館）
- ワインコーナー（塩尻市立図書館）
- 被爆体験証言ビデオ（広島市立中央図書館）

レファ協のデータの関係

- 4つのデータが連携し、循環する。



3つの公開範囲

自館のみ参照

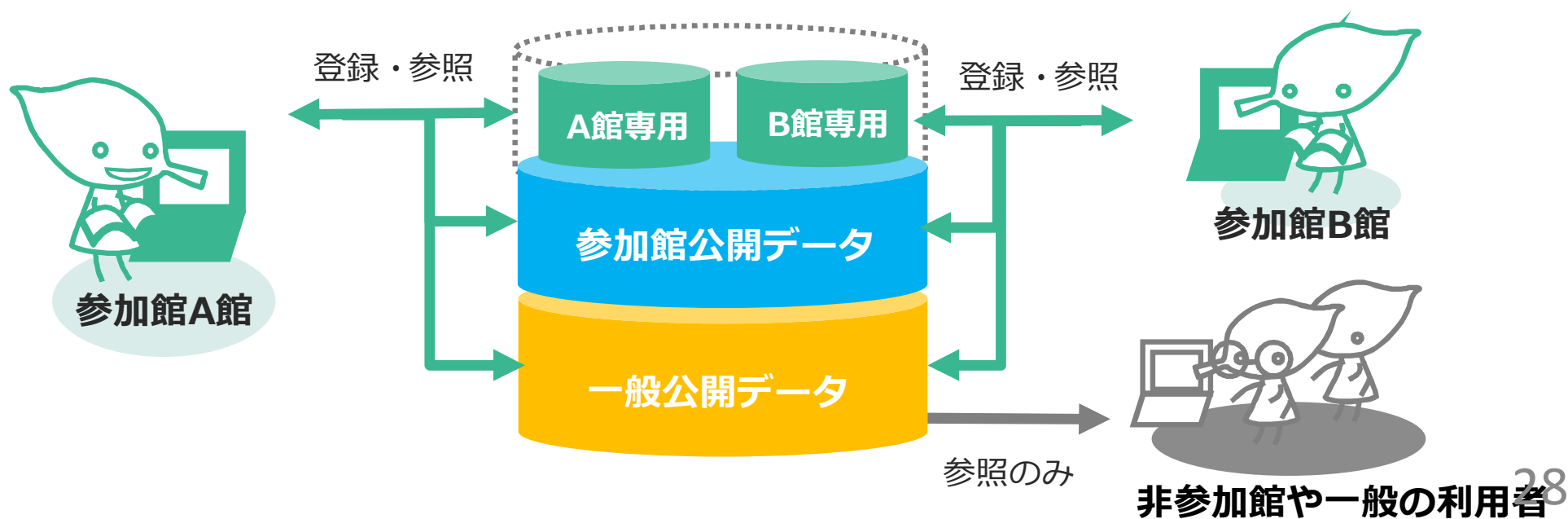
.....登録館の職員のみが参照可能

参加館内で公開

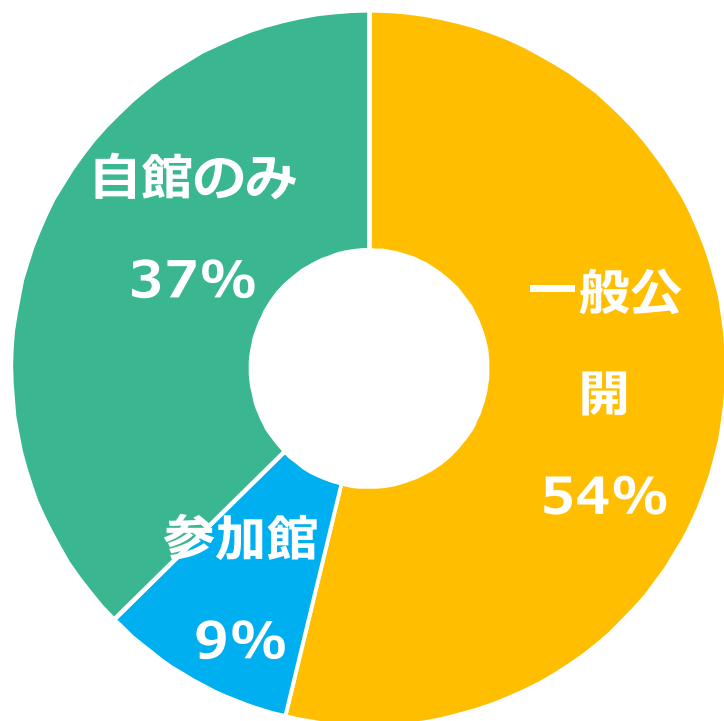
.....レファ協参加館の職員のみが参照可能

一般公開

.....インターネットでだれでも参照可能



公開レベル別登録データ数 (令和元年8月末時点)



● 一般公開 約**124,000**件

● 参加館公開 約**20,000**件

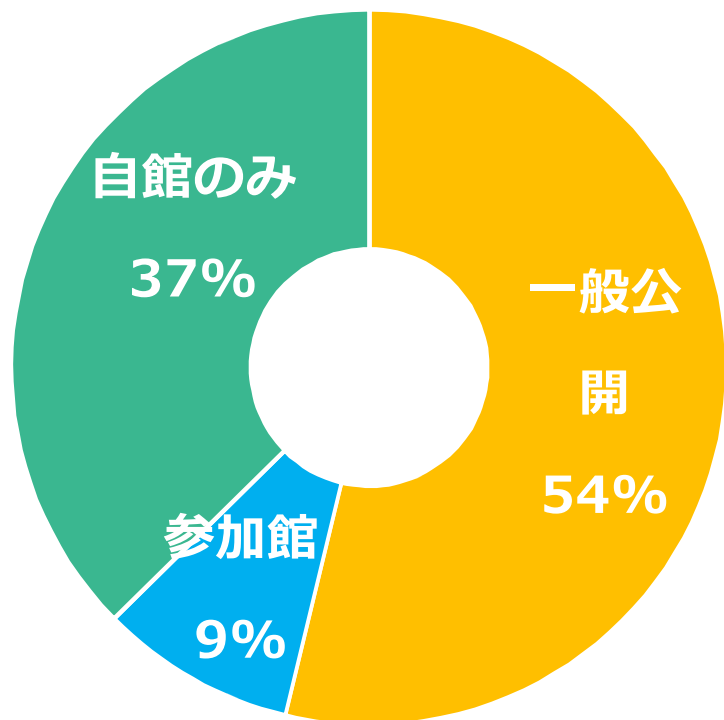
● 自館のみ参照 約**86,000**件

合計 約**230,000**件



2 レファ協のポイント

公開レベル別登録データ数 (令和元年8月末時点)



● 一般公開 約**124,000**件

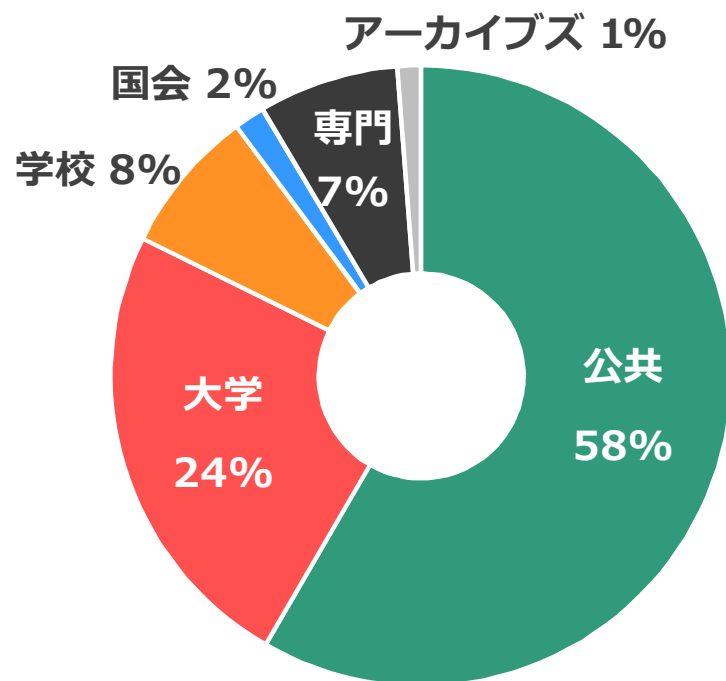
● 参加館公開 約**20,000**件

● 自館のみ参照 約**86,000**件

合計 約**230,000**件

何らか類似の事例を探すことができ、
調査時間の短縮に！

館種別の事業参加館数 (令和元年8月末時点)



● 公共図書館	478館※
● 大学図書館等	196館※
● 学校図書館等	62館
● 国立国会図書館	13館
● 専門図書館	60館
● アーカイブズ	10館

※都道府県立図書館 54館、政令都市立図書館 25館、市町村立図書館 399館

※国立大学図書館 49館、公立大学図書館 20館、私立大学図書館 126館、高等専門学校 1館

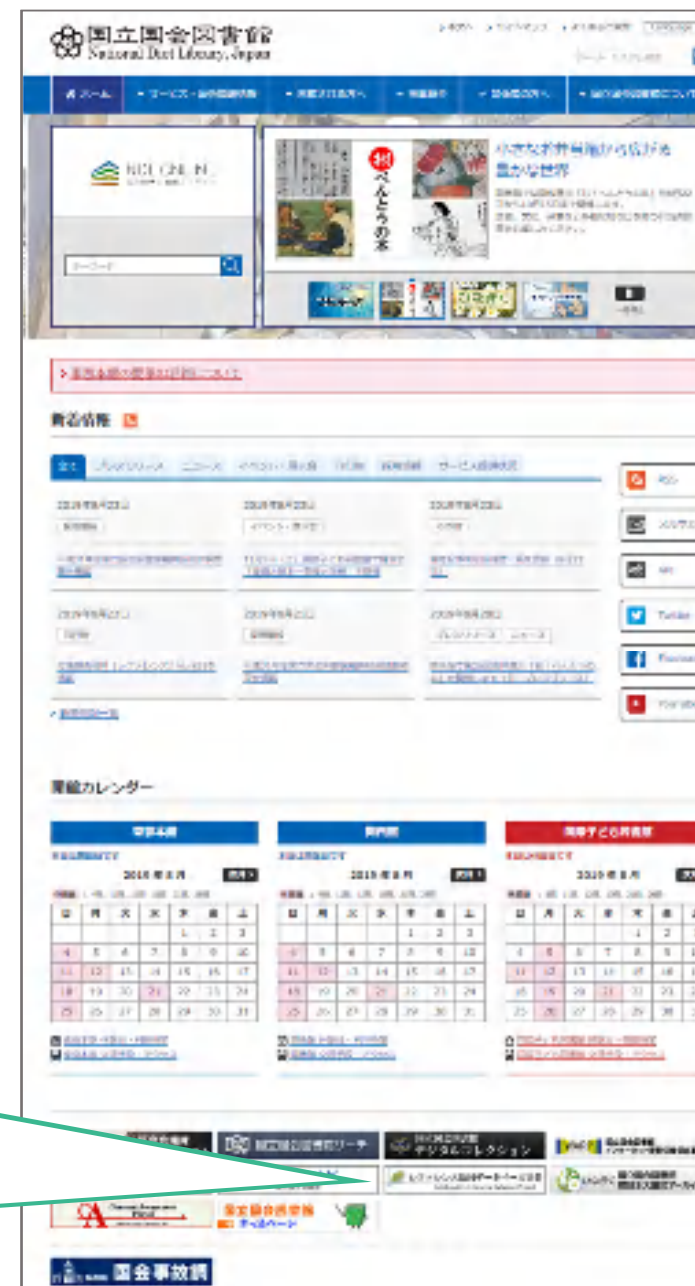
■ ささまざまな機関のデータ

- インドの教育事情と教育に関わる社会問題について分かる資料。 (日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館)
- 日本にジャケットが入ってきた明治時代の縫製方法 (当時ミシンが無い時代に、どうやってジャケットを作っていたか) (文化学園大学図書館)
- 即席めんの生産量、出荷・販売額 (業界内シェア)、家庭における消費などの動向を調べることができる資料はあるか。 (横浜市中心図書館)

ここで...
レファ協を検索

レファ協の入口

- 国立国会図書館HPのバナーから
- または「レファ協」で検索



トップ画面と3種類の検索方法

The screenshot shows the homepage of the Collaborative Reference Database (レファレンス協同データベース). The header includes the logo and the text "レファレンス協同データベース Collaborative Reference Database". A "ログイン" (Login) button is in the top right.

The main content area is titled "トップ" (Top) and features three search methods highlighted in red boxes:

- 簡易検索** (Simple Search): A search bar with a "検索" (Search) button and a "クリア" (Clear) button.
- 詳細検索** (Advanced Search): A search bar with a "検索" (Search) button and a "クリア" (Clear) button.
- テーマから探す** (Search by Theme): A section titled "テーマから探す" with a table of categories. The "NDC (101794)" category is highlighted in green. Below the table is a red box with the text "すべて開く/閉じる" (Open/Close all) and "テーマから探す" (Search by Theme).

The table of categories is as follows:

NDC (101794)	地名 (17680)
すべて開く/閉じる	
NDC (日本十進分類法)	
0 総記 (6221)	
1 哲学 (4898)	
2 歴史 (22073)	
3 社会科学 (20521)	
4 自然科学 (8193)	
5 技術 (9167)	
6 産業 (7615)	
7 芸術 (10895)	
8 雑学 (3088)	
9 文学 (9123)	

On the right side, there is a "Twitter" section with a "Tweets by @ord_we" header. A tweet from "国立国会図書館" (@ord_tweet) is visible, discussing the name of a book by Kikuchi Tokuji.

A grey overlay at the bottom of the screenshot contains the text "(ページ中ほど省略)" (Omitted from the middle of the page).

データの検索（簡易検索）

検索窓にキーワードを入力：4つのデータを一度に検索

<http://crd.ndl.go.jp/jp/help/crds/search.html#chap2-1-2>

ページ表示数 10 25 50 100 200

[<詳細検索>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

[<登録データ一覧>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

データの検索（詳細検索）

レファレンス事例 | 調べ方マニュアル | 特別コレクション | 登録館プロフィール

並び替え: 適合度順 関連 閲覧 表示数: 10 25 50 100 200

検索条件: を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

を含む を含まない

検索条件を AND条件で検索 OR条件で検索

NDC または または を含む を含まない

登録番号

担当館コード と一致する と一致しない

発行年次 年 月 日 ~ 年 月 日

登録日時 年 月 日 時 分 ~ 年 月 日 時 分

更新日時 年 月 日 時 分 ~ 年 月 日 時 分

雑誌/ス 雑誌 本誌

雑誌

所属機関 大学紹介 学芸図書 総合的事業図書 学芸図書 学芸資料図書 利用案内 その他

登録形態 中継資料 小中学生 高校生 学生 社会人 団体 図書館

分

内容種別 郷土 人物 職業 地名

種別

NDL 国立国会図書館 国立国会図書館分館 国立国会図書館本部

公共 総合図書館 政令指定 市立 町立

大学 国立 公立 私立 高等専門

学校 高等学校 中学校 小学校 その他

専門 国公立 公益法人 企業 その他

アーカイブズ アーカイブズ

検索項目を指定・組み合わせで検索

目的や状況に応じて検索結果を絞ることができる

(例)

参考資料

「あの資料を使った事例はある？」

主題×館種

「あのネタ、この館種ではどう答えてる？」

主題×質問者

「高校生の郷土レファはどう答えてる？」

データの検索（テーマから探す）

- NDCや地名からブラウジング
特定の分野・地域の事例を調べる場合に便利！

NDC(79741) | **地名(14511)**

すべて開く／閉じる

NDC(日本十進分類法)

- ⊕ 0 総記 (5133)
- ⊕ 1 哲学 (3922)
- ⊕ 2 歴史 (17606)
- ⊕ 3 社会科学 (16150)
- ⊕ 4 自然科学 (6092)
- ⊕ 5 技術 (6945)
- ⊕ 6 産業 (5747)
- ⊕ 7 芸術 (8340)
- ⊕ 8 言語 (2474)
- ⊕ 9 文学 (7332)

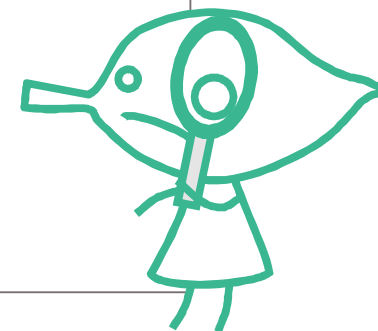
NDC(79741) | **地名(14511)**

すべて開く／閉じる

地名

- ⊖ 2200000001 地名(日本) (10196)
 -2200000002 北海道 (111)
 -2200000003 青森県 (16)
 -2200000004 岩手県 (78)
 -2200000005 宮城県 (102)
 -2200000006 秋田県 (40)
 -2200000007 山形県 (39)
 -2200000008 福島県 (81)

市町村名を
都道府県に分類





例題 1

レファ協登録データのうち、

- 長野県に関するレファレンス事例の数は？
- そのうち、未解決の事例は？





いくつかの方法があります

その1. **簡易検索**で「長野県」と入力して検索
→検索結果一覧の左側にある「検索結果の絞込み」で「未解決」を選択する。

トップ > 簡易検索

検索結果の絞込み

長崎県

検索 クリア

表示数: 10 25 50 100 200

<詳細検索> [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

1 2 3 4 5 6 ... 23

次ページ

レファレンス事例 (570) | [調べ方マニュアル](#) (30) | [特別コレクション](#) (2) | [参加館プロフィール](#) (8)

並び替え: 昇順 降順 表示数: 10 25 50 100 200

検索結果 570件中 1から 25件を表示

K10112220032 2010年12月16日 国立国会図書館 (National Diet Library) 2016年10月20日



いくつかの方法があります

その2. **テーマ検索**の地名タブで「日本>長野県」を選択
→以下はその1. と同じ。

その3. **レファレンス事例の詳細検索**で、
検索条件「すべて」に「長野県」と入力、
「解決／未解決」で「未解決」を選択し、検索



例題 2

長野県の先祖調べに関する事例を見るには？



参加館にとっての
ポイントは？

ポイント①

レファレンスの記録・
共有・継承のツール

■ こんなお悩み、ありませんか…

- 我流でなんとかやってきたけど、これで大丈夫かな？
- こういうの前任の〇〇さんなら得意そうだけど…
- この件、もう少しでわかりそうだけど次のシフトは3日後…
- この質問、前にも聞かれたけど、どうやって調べたんだっけ？
- 利用者に「前来た時は～」って言われたけど…

解決のカギは「記録」にあり！

記録することの意味

1. スキルや役立つ情報の共有化（横の共有）
 - 1人でどこまでやりきれますか？
 - すぐそばに、いつでも尋ねられる人はいますか？
2. レファレンス処理の迅速化（縦の共有）
 - 1回の記録ともう1回やり直すのではどちらが楽？
 - その情報にもう価値はないと言い切れますか？
3. 評価や組織運営のための基礎データ

記録 = 「個人の体験」を「組織の情報」にすること

どのように記録を残すか？

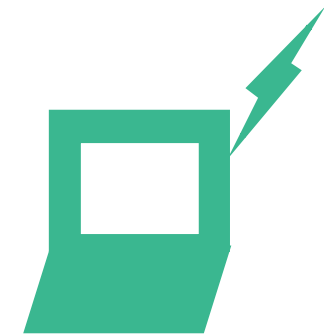
1. 紙で管理をする

- とっつきやすい
- 費用があまりかからない
- 管理が大変。複製・加工しにくい
- 検索にはやや不向き



2. データベースを構築する

- 内容を複製・加工しやすい
- 検索しやすい
- 操作に慣れが必要
- 維持費がかかることが多い



レファ協で記録すると

- 慣れは必要だが、レファレンスを記録するために開発されたデータベースなのである程度使いやすい
- 費用は不要。管理維持は国立国会図書館が行う
- 遠隔／複数人の同時利用が可能。
- 複製・加工もしやすい
- 参加館を支援する様々な機能あり
- 他の媒体との併用もしやすい。



レファレンスで人を育てる

レファレンス・レファ協と人材育成

- 記録としてまとめるという作業自体が、レファレンスの内容を理解することに
- レファレンスに取り組むことでノウハウの蓄積ができ、スキルアップに
- 職員とスタッフが一緒になってレファレンスに取り組むことで、お互いのコミュニケーションが良くなる
- 強制ではなく主体性を重視：達成感と利用者の反応がモチベーションに
- 他館未解決事例に挑戦（研修）

（近畿大学中央図書館の事例）

近畿大学中央図書館 寺尾隆 事例報告@第3回レファ協フォーラム

http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8655425/crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/forum_h18_report.pdf#page=30

レファレンス研修に活用

- 朝のレファレンス勉強会（朝レファ）
- **開館前の15分間、週2回**
- **職員が交代で講師役になり、レファ協のレファレンス事例を1つ、自館で所蔵する資料と合わせて紹介。手間は最小限に**
- 意見交換によって、所蔵資料や資料配架、書誌データを見直すことに
- 職員用マニュアルとして整理→パスファインダーへ

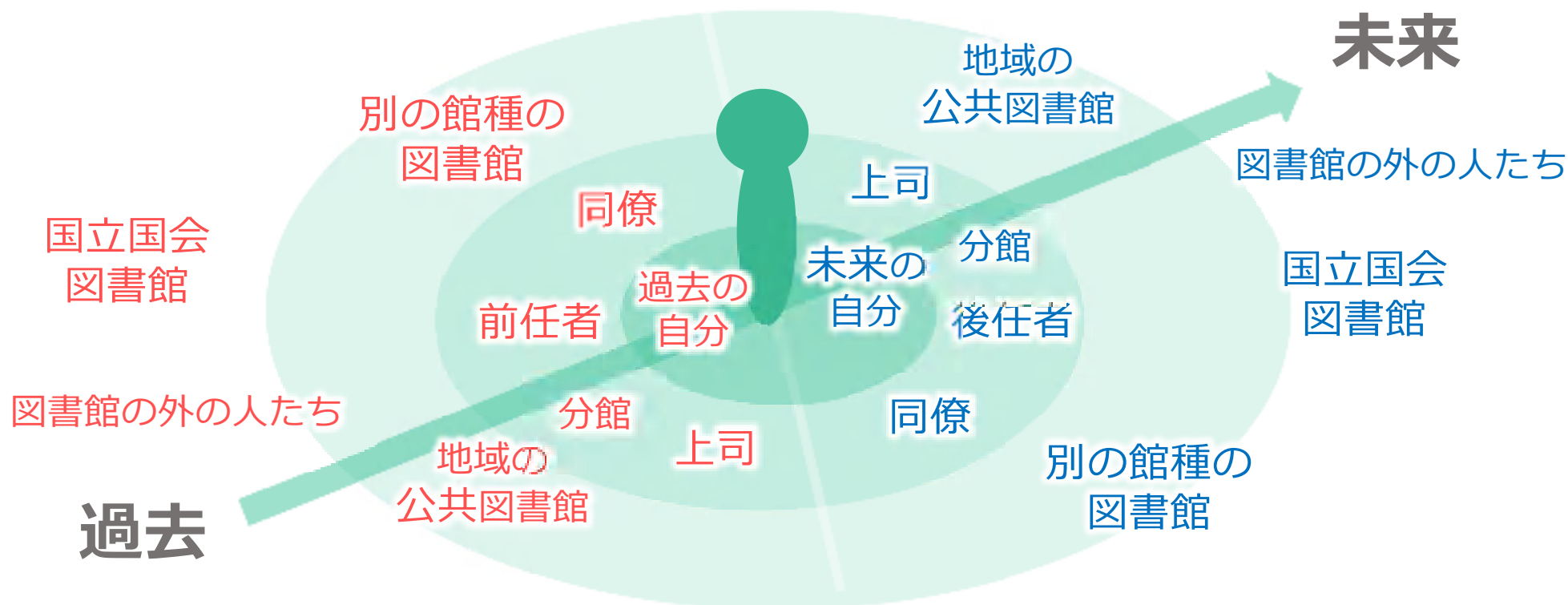
（秋田県立図書館の事例）

パネルディスカッション@第2回レファ協フォーラム

http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8655425/crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/forum_h17_report.pdf

レファ協で必要な情報を貯める→共有する

- レファ協は図書館の資源・ノウハウ・経験の「貯金箱」
- 自分たちに役立つ情報は自分たちで貯める
→貯まった情報を組織の内外で共有する



ポイント②

参加館とレファレンス成果を
共有／相互に支援

「協同」ということ

- 万能な図書館は存在しない
- 資源やスキル、ノウハウを共有する
- データは参加館が相互に確認することで、質の高いものに
 - ： 日常的な情報交換。館種を越えたネットワーク
 - ： 参加館公開のデータ（約2万件）も活用
- コミュニケーションの相手は館内にも

単館・1人ではできなかったことが可能に！

参加館コミュニケーションの機能①

・コメント機能

- ・ コメントの交換で登録データをブラッシュアップ！
- ・ 記入：データ詳細画面 確認：トップ画面「コメント」



参加館コミュニケーションの機能②

- メール通知機能

- 未解決事例の登録時とコメント到着時
- 未解決事例の配信はメールアドレスを登録した館のみ



ポイント③
公開して届ける

レファ協の活用法はいろいろ

自館のみ参照

- 自館内での記録、共有

過去の事例や
他の職員が対応した
事例をすばやく発見
→業務の効率化

人事異動時などの
引継ぎにも

参加館公開

- 他の参加館との共有

(一般公開はできなくても...)
公開することで、
他の参加館に役立つ
+
情報提供につながる

一般公開

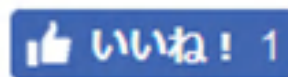
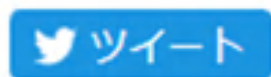
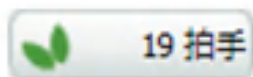
- 他の図書館、一般の方の参考に
- 活動のPR

自館の活動を効果的にアピール！

「レファ協で」公開する意義

一人に対してのレファレンスを外へ開く

- その情報を（潜在的にも）必要とする人へ届ける
: 常連さんだけでなく、図書館を利用しない人へも
- 数の力・SNS連携
- 公開することで、情報や人を呼び込む
- 図書館の活動の広報になる
- 統計機能（被参照数）：反応が数字で見える

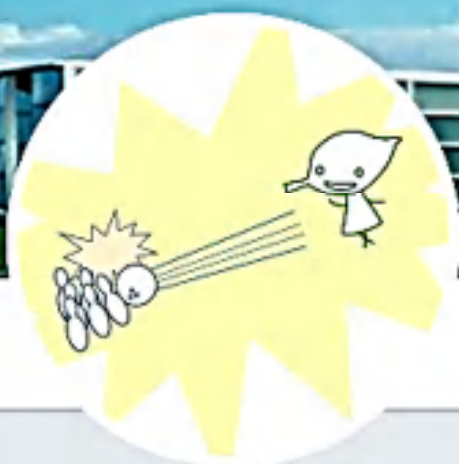


レファ協公式Twitterアカウント

@crd_tweetで事例やイベント情報を日々ご紹介



情報提供も
いただいています！



ツイート 37,088 フォロー 24,299 フォロワー 34,570 いいね 1

国立国会図書館レファ協公式

@crd_tweet

図書館に寄せられた質問の記録など、調べものに役立つ情報を集める『レファレンス協同データベース事業』の公式アカウントです。アイコンは、イメージキャラクターの「れはっち」です。イベント情報や登録データなどをつぶやきます。ご意見・ご質問は以下へお願いします

ツイート ツイートと返信 メディア



国立国会図書館レファ協公式 @crd_tweet · 2時間
「フランダースの犬」で、主人公ネロが見たルーベンスの絵のタイトルを知りたい。また、ルーベンスの作品製作について何かエピソードはあるか。(栃木県立図書館)



「フランダースの犬」で、主人公ネロが見たルーベンス...
レファレンス協同データベース（レファ協）は、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービスです。参加館の質問・回答サービス

crd.ndl.go.jp

■ 自館のHPでもレファ協データを紹介

- 事例の固定URLを活用する
- 自館の事例一覧画面へのリンクも可能(**赤字**が参加館ID)

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/list.reference?id=4310010>

実際にお問合せいただいた一部のレファレンス事例は、国立国会図書館のレファレンス協同データベースから検索することができます。

国立国会図書館 レファレンス協同データベース
トヨタ博物館 ライブラリーのレファレンス事例集

フリーワードから探す

検索 リセット

レファレンス事例をフリーワードから検索できます。

トヨタ博物館 ライブラリー レファレンス事例一覧

レファレンス事例一覧

クリックすると回答事例が全件一覧できます。

レファ協の
検索窓も

事例の一覧
へのリンク

トヨタ博物館 | ライブラリー「レファレンスサービス」
<http://www.toyota.co.jp/Museum/facilities/library/>

評価を活用する

- 国立国会図書館長からの御礼状
 - データ総登録、年間登録数、年間アクセス件数のどれかが一定以上に達した参加館に御礼状を送付
 - 詳しい基準は、HPで公開しています
<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks.html>
- 企画協力員賞もあります！
 - 御礼状の基準には当てはまらないが、貢献が大きな館にお送りしています（小規模館にもチャンスあり）



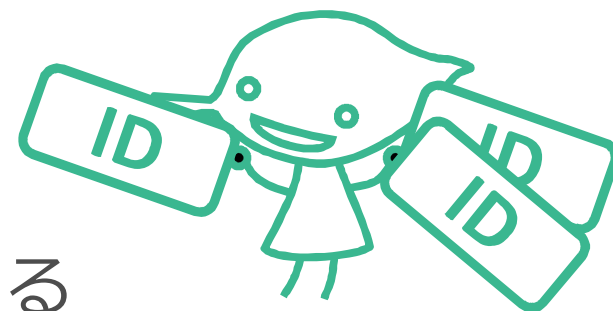
3

レファ協を使う

- ▶ システムの機能
- ▶ データについて
- ▶ 運用方法を考える

システムの機能

■ ユーザの種類



- 一般利用者（ログイン不要）
 - 一般公開のデータを検索して参照できる
- 参加館の職員（3種類のIDのどれかでログイン）
 - **検索用ID**：＋一般／参加館公開のデータを検索・参照
 - **登録用ID**：＋データの登録（「自館のみ参照」のみ）
 - **管理用ID**：＋データの管理

公開範囲の切り替えや削除は
管理IDしかできないので、情報漏洩のリスク低

ログイン後のトップページ（管理用IDの場合）



The screenshot shows the management interface of the Collaborative Reference Database (CRD). At the top, there is a green navigation bar with various menu items. The main header area features the CRD logo and title. On the right, there are user management options and a login/logout button. The central content area is divided into three columns: a left sidebar with navigation and notification links, a main content area with a search bar and a list of links, and a right sidebar with a Twitter feed.

レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

ログアウト [ヘルプ](#) [文字拡大](#)
ID: 1000000000001 [レファ協事務局 \(管理用\)](#)
[What's CRD? \(English\)](#)

[新規登録](#) [自館データ](#) [アップロード](#) [自動取得](#) [コメント](#) [掲示板](#) [統計](#) [ID・PW変更](#) [館内お知らせ編集](#) [館内作業メモ編集](#)

自館データ [▶▶](#)

- 【作業中】文献リスト
- ライブラリanship賞表彰状
- てすと

[一覧へ](#)

コメント [▶▶](#)

- この事例をレファレンスに活用させていただきました。ありがとうございます...[回答済]
- 課長にも報告終わりました。[回答済]
- コメント[回答済]

トップ

[検索](#) [クリア](#)

ページ表示数 10 25 50 100 200

[<詳細検索>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

[<登録データ一覧>](#) [レファレンス事例](#) / [調べ方マニュアル](#) / [特別コレクション](#) / [参加館プロフィール](#)

お知らせ（館内）

Twitter

Tweets by [@crd_tweet](#)

 **国立国会図書館**
[@crd_tweet](#)

メロンの病気について載っている本はあるか。（[国南町立図書館](#)）
[crd.ndl.go.jp/reference/deta](#)

...

 **メロン...**
レファ...

データ登録：3つの方法

- a. ウェブフォームから手動入力
- b. ファイルをアップロード
- c. システムが自動で取得



■ ウェブフォームからの手動入力

- 1.
ログイン後の画面で「新規登録」をクリック



ウェブフォームからの手動入力

- 2. 必要な項目を入力して「登録」をクリック

レファレンス事例新規登録 ヘルプ 入力欄ヘルプ

登録 クリア

レファレンス事例	調べ方マニュアル	特別コレクション
【必須】 管理番号 ?	れはっち01 【最後に入力された管理番号：自館関連ファイル】	
公開レベル ?	<input type="radio"/> 一般公開 <input type="radio"/> 参加館公開 <input checked="" type="radio"/> 自館のみ参照	
【必須】 質問 ?	学校図書館は単館でレファレンス協同データベース事業に参加できるか。	
回答 ?	平成25年度より学校図書館の参加が可能になっています。 事業の参加資格について定めた「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加規定」の第1項(4)では学校図書館の参加資格について以下のように定められています。 「学校図書館法(昭和28 年法律第185 号) 第2 条の学校図書館を設ける学校又は学校図書館関係者を会員とする、学校図書館の運営若しくは技術について研究若しくは研修の活動を行っている団体（以下「学校図書館関係団体」という。）」 レファレンス協同データベースの「事業に参加するには」を参照した。	

ウェブフォームからの手動入力

- 3. データが登録されました！
更新には「更新画面へ」をクリック

レファレンス事例詳細(Detail of reference example)

[転記用URL] http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000260638

更新画面へ

ダウンロード

削除

提供館 (Library)	国立国会図書館レファレンス協同データベース事業事務局 (100000)	管理番号 (Control number)	れはっち01		
事例作成日 (Creation date)		登録日時 (Registration date)	2019年08月30日 15時09分	更新日時 (Last update)	2019年08月30日 15時09分
公開レベル (Access level)	自館のみ参照				
質問 (Question)	学校図書館は単館でレファレンス協同データベース事業に参加できるか。				
	平成25年度より学校図書館の参加が可能になっています。				
	事業の参加資格について定めた「国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加規定」の第1項(4)では学校図書館の参加資格について以下のように定められています				

ファイルのアップロード

1



① 「アップロード」をクリック

② 「参照」でアップロードするテキストファイル（XMLかCSV）を選択する

③他の項目も確認し「送信」をクリック

④エラーがなければ翌朝に反映される。結果はメール通知が来るほか、処理予定・処理結果一覧画面で確認できる。

2



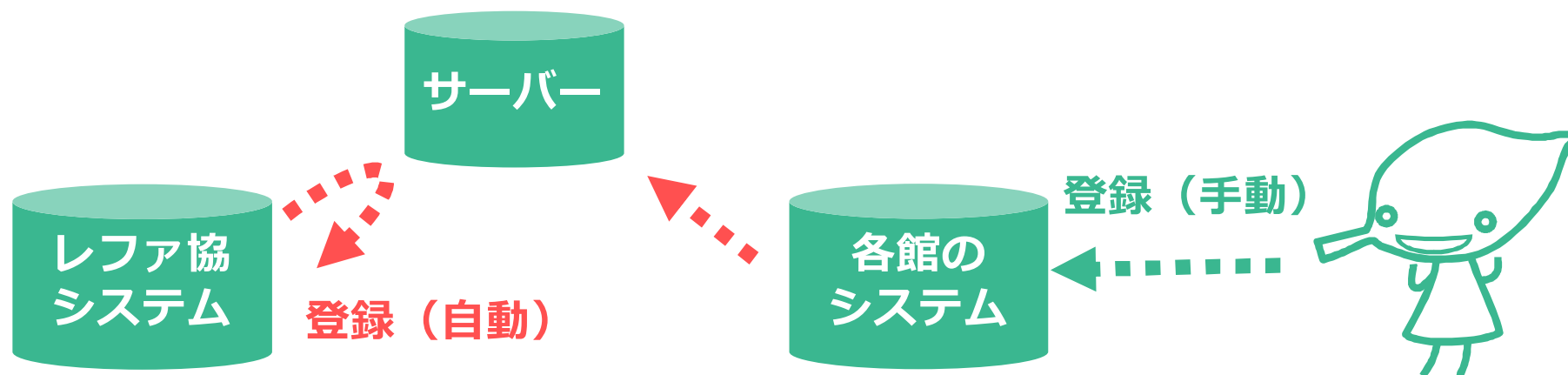
**更新の場合は上書きに注意！
（管理番号で同定します）**

4

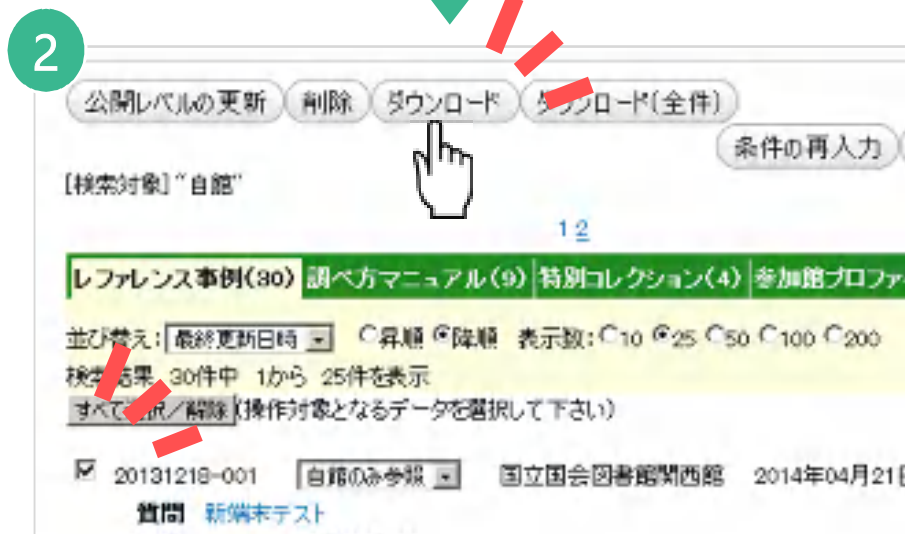


システムから自動で取得

- 参加館がインターネット上に置いた登録用ファイルを自動でレファ協システムが取りに行き、登録
- 各館のシステム側での設定が必要



登録データのダウンロード



- ① トップ画面「自館データ」をクリック
- ② 自館のデータが一覧表示されるのでダウンロードしたいデータを選択し、「ダウンロード」をクリックする（又は「ダウンロード（全件）」をクリック）
- ③ 必要な項目・形式を選んで「ダウンロード」をクリックする。

参考：CSVファイル（=カンマ区切り）の例

”「ねはっち」というキャラクターを見たい。”，“1”，”テスト01”
 ，”参考資料を提示した。”，“0”，”，”，”，”，”文献紹介”，”，”国
 立国会図書館総務部．びぶろす．国立国会図書館，2012-11.↓
<http://iss.ndl.go.jp/books/R100000040-1000157820-00>”，”国
 立国会図書館サーチでキーワード「レファ協 ねはっち」で検
 索。↓
 参考資料がヒットしたの
 説明が掲載されていた。
 利用者に見せたところ、
 した。”，“”，”「ねはっち
 はご存じだった。”，“”，”
 27151606”，”1100089463”
 データベース事業担当者
 [EOF]

時間	公開レベル	管理番号	題名	事例作成日	作成者	所属	検索キーワード	キーワード	検索日時	内容種別	所属	備考	備考

便利な機能：参考資料の自動入力

1

資料検索 入力補助

書誌的 著作権台帳
事項

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

3

資料検索 入力補助

書誌的 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 . 著
事項 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-10539

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

2

No.	資料種別	書誌的事項
反映		日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-10539
2	図書	日本著作権協議会 [編] , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000074-10004
反映	3	日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-10539
反映	4	日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-10539
反映	5 図書	著作権台帳 : 文化人名録 11版. 1991. http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-10539

①入力画面で、参考資料の箇所にある書誌的事項にキーワードを入力し「資料検索」をクリック

②検索結果一覧の中から使用した資料と同じものを選んで「反映」をクリック

③選択した資料の情報が自動で入力されるのを確認する。

統計機能：活動を目に見えるかたちに

- 表示できる項目
 - 登録件数 ≡ 図書館がどれだけ活動したか
 - アクセス件数 ≡ その活動の成果がどれだけ届いたか
- 別の時期や他機関と比較もできる
- テキストデータ（csv）でも出力可→編集・加工しやすい

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	自館の登録件数・被参照数									
2	検索条件 [図書館コード] 1210001 [期間] 2013年01月~2013年12月									
3										
4	登録件数			2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年
5	データ種別	公開レベル	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
6	レファレンス	一般公開	0	0	0	0	0	0	0	0
7	レファレンス	参加館公開	0	0	0	0	0	0	0	0
8	レファレンス	自館のみ	24	0	5	1	1	1	1	1
9	調べ方マニ	一般公開	0	0	0	0	0	0	0	0
10	調べ方マニ	参加館公開	0	0	0	0	0	0	77	0
11	調べ方マニ	自館のみ	6	0	1	0	0	0	0	0

データについて

■ レファレンス事例作成のヒント

- まずはできるところから記録
 - ：登録の選定基準は後からでも
- すべての項目に入力する必要はありません
 - ：レファレンス事例の必須項目は、管理番号・質問・回答・公開レベルのみ
- 入力の仕方に決まりはありません
 - ：別の人が調査を再現できるかが記録のポイント
 - (参考) データ作成・公開に関するガイドライン
 - <http://crd.ndl.go.jp/jp/library/guideline/index.html>
 - ※マニュアルや規則ではなく、考え方や指針を示すもの
- 登録はできるだけ省力化！
 - ：参考資料の自動入力機能、ファイルのアップロード機能

■ データ公開の条件

- ① 個人のプライバシーが尊重されていること
- ② 質問者の特定につながる恐れがないこと
- ③ 差別表現等の点で問題がないこと

必読！

データ作成・公開に関するガイドライン

http://crd.ndl.go.jp/jp/library/guideline/data_open.html#chap4-2

参加館通信（号外_ご注意ください！レファ協の登録データにおける個人情報の扱いについて） ※要ログイン：参加館ページの掲示板に掲載

https://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3forum/index.php?topic_id=5274

事例の一般化はどうしたら？

- 内容の一部のみを取り出し、リメイクして登録する
- 回答プロセスを生かしつつ、テーマ、キーワードを入れ替える
- 上位概念など、より幅広いテーマ、キーワードに変更する

HPや館内掲示等で、間接的に利用者へ伝えることも一つの手段

質問や回答内容は依頼者が特定できないように加工した上で、名古屋市図書館のレファレンス事例集や国立国会図書館レファレンス協同データベース（レファ協）へ登録・公開させていただくことがあります。

名古屋市立図書館ホーム＞調べ物案内（レファレンスサービス）
<https://www.library.city.nagoya.jp/reference/reference.html>


調べ方マニュアル作成のヒント

- よく聞かれるレファレンス事例をベースに編集
- 特に届けたいテーマで編集（自館の強み／時宜を得たトピックなど）
- 館内等で配布している「調べ方ガイド」や「パスファインダー」などのチラシを再編集しても
- ブックリスト、展示リストなども
- PDF, Excel, 写真画像など掲載可能

工夫次第で、いろいろできます！

便利な機能：関連ファイルの登録

関連項目	参考資料
タイトル	れはっちペーパークラフト
説明文	れはっちのペーパークラフト
ファイル	れはっちペーパークラフト.pdf
<input type="button" value="関連ファイルのアップロード"/>	
<small>調べ方マニュアルに関連づけられた「PDF」「Word」「Excel」「html」ファイルは、ファイル本文が検索対象となります。検索対象外は検索対象外とさせていただきます。</small>	
項目名	
1	

参考資料 (Reference materials)	れはっちペーパークラフト  れはっちのペーパークラフト
キーワード	

各館作成のパスファインダーのPDF
ファイル等をそのままアップロードで
きます！Excel,JPEG画像等もOK！

- ①新規登録画面「関連ファイル」にある「関連項目」等に情報を記入
- ②「参照」をクリックして、アップロードしたいファイルを選択
- ③「関連ファイルのアップロード」をクリック
- ④調べ方マニュアルのデータを登録すると「関連項目」で指定された箇所にファイルへのリンクが表示される。

調べ方マニュアルは、本文テキストも検索
の対象に！

■ 特別コレクション作成のヒント

貴重書でなくてもOK！

- ビジネス支援コーナー
- 闘病記文庫
- 夏休み自由研究支援コーナー

レファレンスが少ないという館も、図書館
活動のPRとして

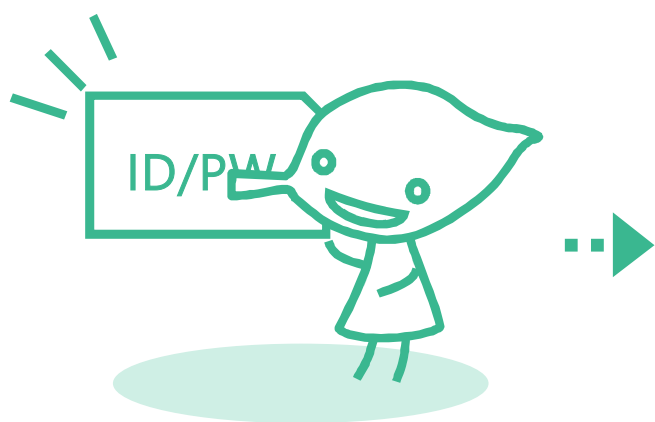
運用方法を考える

■ 運用の方法をイメージしてみる

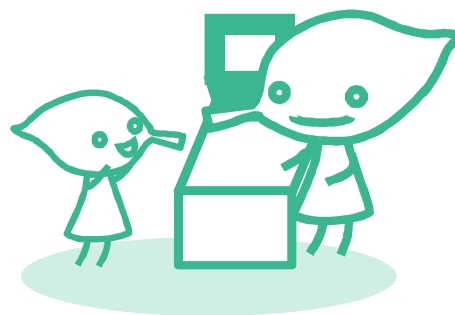
- 基本的な流れはシンプル
 - レファ協で記録（記録→レファ協へ登録）→公開
 - 運用のポイントは、「記録する範囲」「レファ協に登録する範囲」「レファ協で公開する範囲」をどう決めるか
- 業務の中でどう位置づける？
 - 「プラスアルファの負担」ではなく「省力化」としてレファ協を使う
 - レファレンスに対応する全員が関わる、持続可能な仕組み
 - 業務の流れに組み込む／マニュアル整備

記録のしかた その1

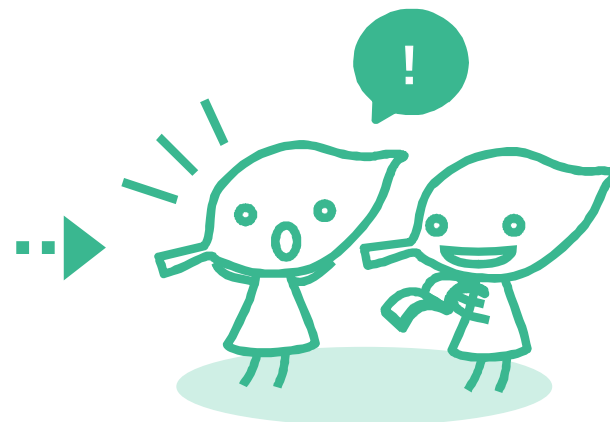
レファ協をメインに記録する



(1) ID/PWの周知
登録のためIDをレ
ファレンス担当者全
員に周知



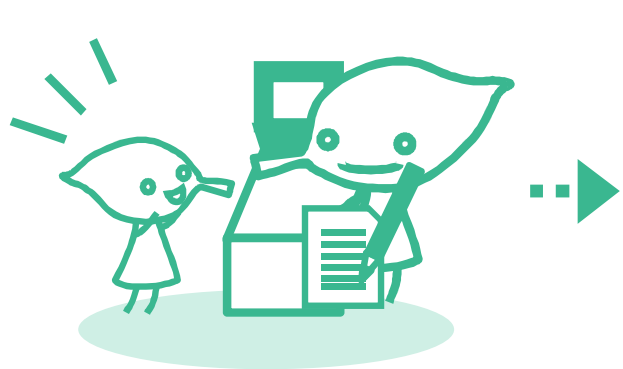
(2) データ登録
ウェブフォームで随
時登録更新。最初は
自館のみ公開で登録



(3) フォロー
自身/職員同士で
チェックして公開範
囲を拡大へ

記録のしかた その2

レファ協と他のしくみを併用



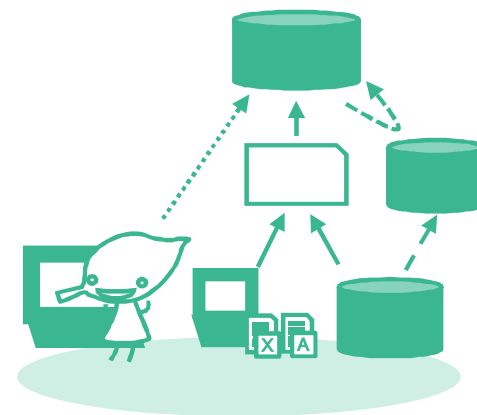
(1) 事例の登録

随時、レファレンス事例を管理簿や独自データベースに登録



(2) 選定

レファ協に登録する
または公開する事例
を選定



(3) 登録

ファイルアップロードや自動取得などで
登録・公開する。

■ 運用の方法を考える：参考事例

- 秋田県立図書館

自館データベースとしてレファ協へ直接入力

http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11036719/crd.ndl.go.jp/jp/library/column_h21_01_akita.html

- 岐阜市立図書館の事例@第7回フォーラム

レファ協の入力項目を参考にして処理票を作成

http://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_7.html

- 豊中市立図書館の事例@第10回フォーラム

業務システムに登録後、月に一度レファ協に登録

http://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_10.html

■ 運用のためのポイント

あらかじめ決めておくとよいこと

- 管理番号の採番ルール
- 作業フロー、職員の役割分担と使用するID
- 登録・公開のポリシー
- ローカル項目などの運用方法



4

参加方法／参加した後

参加申請について

● 参加資格

- 学校教育法第一条の大学又は高等専門学校に設置された図書館又は研究所
- 図書館法の規定に基づく図書館又はこれに準ずる機関
- その他、専門図書館、学校図書館等、文書館etc…

● 申し込み方法

- 上記を満たすことを示す資料と参加申請書を送付
- おおむね 3 週間以内にIDなどをお知らせします。
<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/entry.html>

参加のまえに：研修環境でお試し



The screenshot shows the CRD website interface. At the top right, there is a green button labeled "ログアウト" (Logout) and the text "ID:edit@". The main header features a green leaf logo on the left and the text "研修用環境" (Training Environment) in a red box, followed by "レファレンス協同データベース" (Collaborative Reference Database) and "Collaborative Reference Database" in English. A green navigation bar contains links for "新規登録" (New Registration), "自館データ" (Local Data), "コメント" (Comments), "掲示板" (Bulletin Board), "統計" (Statistics), and "ID・PW変更" (Change ID/Password). The left sidebar has sections for "自館データ" (Local Data) with links to "テスト20151225", "コレクション20151221内容", and "テスト所蔵機関調査"; "コメント" (Comments); and "回答" (Answers). The main content area is titled "トップ" (Top) and includes a search bar with "検索" (Search) and "クリア" (Clear) buttons, a page display selector (10, 25, 50, 100, 200), and a link to "<詳細検索>レファレンス事例/調べ方マニュアル/特別コレクション/参加館プロフィール". Below this are sections for "お知らせ(館内)" (Notice (In-library)) and "お知らせ(参加館用)" (Notice (For participating libraries)), both showing "館内お知らせ情報は未登録です。" (In-library notice information is not registered). The right sidebar features a "Twitter" section with a tweet from @crd_tweet about the library's use in Okayama Prefecture.

* 研修環境の利用申請

<http://crd.ndl.go.jp/jp/help/crds/about.html#chap1-2>



参加した後

- 参加館通信（月1回発行）
 - レファ協に関する情報をお知らせするメールマガジン
- 作成データのフォロー
 - 最初に作成したデータは事務局で確認（その後もいつでも相談に応じます）
 - レファ協サポーターからアドバイスがもらえることも

研修会・イベント

● 集合研修

- レファ協の利活用方法や運営に必要な知識・技能の習得を目的とした研修

● 講師派遣型研修

- 図書館に事務局員を派遣し、要望に合わせてご説明
旅費、宿泊費は依頼館の負担です（謝金不要）

● 事業フォーラム

- 事業に関する意見交換、相互交流、連携協力の場として実施。講演や参加館の実践報告、フロアを交えたディスカッション、交流会など

■ まとめ：レファ協の価値とは

- 「記録する」ことで業務がスムーズになる
- 図書館のサービスを可視化して届ける
- 緩やかな協同、相互サポートの仕組み
- レファ協には図書館の実態が詰まっています
アイデア次第で、まだまだいろんな活用法が
 - レファレンス情報源
 - 自館のレファレンスデータベース
 - 選書や蔵書構築の参考情報
 - 利用者のニーズ把握の材料
 - 組織内での説明、外部向け広報の材料
 - 研修教材 …

お問い合わせ、ご相談はこちらまで
レファレンス協同データベース事務局

info-crd@ndl.go.jp

TEL : 0774-98-1475





参考文書：事業実施要項・参加規定

- レファレンス協同データベース事業実施要項（平成25年3月29日改正）
https://crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/collabo-ref_guide.pdf
- 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業参加規定（平成25年7月26日改正）
https://crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/collabo-ref_reg.pdf